

天 冷奴角を崩して一人酒 (霊峰)  
地 せせらぎに小鮒の群れて夏きざす (宗道)

- 人 手をほどこき孫が摘みたる夏の花 (大塚)
- 人 綾織の川面かすめて夏燕 (門屋)
- 人 濠埋めて蓮の葉風を起こしけり (門屋)
- 人 一滴の梅雨手に受けて仰ぎ見る (徹心)
- 人 風鈴や静まりて又鳴りはじめ (徹心)

※ 来月の投句締切は、七月十五日(火)です。いつものように五句まででお願いします。

霊峰九拜

- 1 静けさに突如鋭く時鳥 (寶州)
- 2 紫陽花を束ねし指の太さかな (霊峰) 3
- 3 バレリーナてふ薔薇の花大群舞 (宗道)
- 4 茂る中多聞櫓の壁白し (門屋) 1
- 5 菩提樹の花肩に落ち結跏趺坐 (徹心) 2
- 6 梅雨寒や夜坐の襟元かきあはず (淨淵)
- 7 どくだみの白き群生遠々と (無傳) 3
- 8 手をほどこき孫が摘みたる夏の花 (大塚) 5
- 9 冷奴角を崩して一人酒 (霊峰) 7
- 10 夏座敷隣近所の猫集ふ (淨淵) 1
- 11 花菖蒲見つけ遠くに寄り道を (寶州) 1
- 12 紫陽花や毬持つ如くみつめおり (徹心) 1
- 13 綾織りの川面かすめて夏燕 (門屋) 5
- 14 暁の夏鴉鳴くほしいまま (篠原) 1
- 15 シヤワシヤワと梅酒ソーダで雨の夜 (白堂) 2
- 16 風見鶏南に振れて若葉風 (宗道)
- 17 にぎやかにえさねだる子も巢立ちかな (無傳) 1
- 18 梅雨寒や施設の窓の灯の消ゆる (淨淵) 2
- 19 冊のまづ揺れて風鈴鳴りにけり (霊峰) 1
- 20 きふよりけふのあぢさゐ濃かりけり (宗道) 2
- 21 長靴ねピンク買ったの孫スマホ (白堂) 1
- 22 妻の髪いよいよ白し豆の飯 (門屋) 2
- 23 カメラ追ふ先を探せば鴨親子 (寶州) 1
- 24 梅雨入りかあじさいの花しつとりと (無傳)
- 25 竹おちば坐のたたずまい新到者 (徹心) 1

- 26 せせらぎに小鮒の群れて夏きざす (宗道) 6
- 27 濠埋めて蓮の葉風を起しけり (門屋) 5
- 28 一滴の梅雨手に受けて仰ぎ見る (徹心) 5
- 29 花菖蒲水鏡には妻の顔 (霊峰) 2
- 30 梅雨寒やケアーホームへ帰る母 (淨淵) 3
- 31 梅雨寒しカサブランカは立ち尽くし (白堂)
- 32 新社員スラリと着こなす黒き服 (寶州)
- 33 冷やし酒肩寄せ合ふた老二人 (篠原) 2
- 34 梅雨寒や母の記憶の薄れゆく (淨淵) 3
- 35 立葵不思議と音のない真昼 (霊峰) 1
- 36 菖蒲池句碑の周りに花競ふ (宗道) 1
- 37 ナメクジの散歩の跡やきらきらと (寶州) 4
- 38 緑陰や稻荷幟の文字白し (門屋)
- 39 風鈴や静まりて又鳴りはじめ (徹心) 5
- 40 梅雨晴間髪ほめらるゝ女将さん (篠原)
- 41 床を置き紫陽花二輪放り込み (白堂)

